

災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

避難の心得

災害時避難において最も重要なことは、「安全な場所」に「早めに避難」することです。「自分たちの命は、まず自分たちで守る」という心構えをもち、常に落ち着いて行動できるよう考えておきましょう。

- 大雨警報などの気象情報を収集
- 避難のタイミングを考える



- お年寄りや子ども、病気の方などは早めに避難
- 協力して避難



- 濡れてもいい服装や、動きやすい格好避難
- 2人以上での避難



- 夜間や浸水が始まってからの避難は危険が多い
- 避難情報を待たずにできるだけ早めに避難



【浸水害の場合】

- 丈夫な建物の、高い所へ一時的に避難



【逃げ遅れたときは】

【土砂災害の場合】

- 山と反対側の建物の上の階に移動し、自分の身を守る



さまざまな避難の方法

一人ひとり世帯ごとに合う「避難方法」と「避難先」について確認しておきましょう。避難する際には、今いる場所や今から行く場所で災害が起こる可能性がある、もしくは災害が起きている状況になります。安全に避難するために、今回は一例を紹介させていただきます。

	避難先	事前の行動と準備
立ち退き避難 (水平避難)	・指定緊急避難場所 ・自主避難先 (親戚や知人宅、ホテル等)	・避難経路が安全か ・自主避難先が安全か ・避難先へ持っていくもの ・防災計画や個別避難計画など
屋内安全確保 (垂直避難)	・上階へ移動 ・上層階に留まる	・家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水想定区域など ・浸水などの対策 ・孤立に備え飲食物や燃料を準備

確認

全ての場合で、ハザードマップなどを見て、安全かどうかを確認してください。

確認方法は広報かわねほんちょう2月号「みんなで取り組む防災・減災 Vol.1」で紹介しています。

過去に掲載した
「防災・減災の取り組み」は、
右のQRコードからアクセス



今回は「避難場所、避難所での生活」を掲載予定

【問】総務課自治防災室 ☎(56)2220

内装&外装 塗装工事一式

なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

中村久信の後を息子が引き継ぎました。

川根本町徳山936

TEL・FAX 0547-57-2840

二代目代表 中村 剛子 (なかむら たかね)

お見積もりは無料ですのでお気軽にお問い合わせください。